

# 水墨画、料理で日中交流

## 砺波の瀬尾学園 40周年で訪問

【砺波市】砺波市の総合カレッジ

SEO（瀬尾学園、瀬尾陸奥学園長）の創立40周年記念事業・日中文化交流団（団長・瀬尾学園長）の二十五人は十一日、中国・杭州市で料理学校や老年学校で指導者や学生、受講生と料理、水墨画、書、二胡などの文化交流を行い、帰国した。同学園では、教室を開設している料理や書、水墨画、琴などが中国文化の影響を多く受けていることから、現地の技術を見聞し、指導者、受講生同士が交流することを目的に四泊五日の日程で訪問した。



水墨画共作で交流する瀬尾学園の一行  
＝中国杭州市の杭州老年大学

杭州市では五十五歳以上の人が学んでいる杭州老年大学を訪れた。歓迎セレモニーで一行は「こ

きりこ節」を踊り、老年大学側は民族舞踊を披露し合った後、水墨画と書道、二胡の教室に分かれて交流した。

水墨画教室では瀬尾学園講師の森田桂圃さんから、書道教室では篠島正子さんが中国の指導



歓迎セレモニーで杭州老年大学生徒と記念撮影する瀬尾学園の一行  
＝中国杭州市の同大学

者、受講生と作品を共作したり、お互いの技術を披露し合った。二胡教室では瀬尾学園長が古代楽器の「七弦琴」、中国の講師が二胡で「さくら」を合奏するなどして交流を深めた。

料理学校の杭州市城西職業技術培訓学校では中国国内でも特級の講師が中国料理の技を披露し、一行は今後の勉強に生かそうと手際の良さと豪快な動きに見入った。

同学園では十一月十八日に四十周年記念式典を行うが、会場で今回手がけた書や水墨画、交流の写真などを展示する。